



2024年12月12日
第99号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第4号

「南武線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全25項目】団体交渉を行う！⑤



5. 関係する自治体やお客さまへの周知の時期と方法について明らかにすること。

【会社回答】必要な周知はしている。

組合	会社
どのような時期にどのような内容で伝えているのか。進捗状況を示すこと。	自治体への説明内容は示せないが、自治体には会社が責任を持ってお話しさせていただいている。お客さまへの周知は、11月6日に社長会見ですでにプレス発表している。今後、具体的な日付等が決まればお知らせする。
例えば、沿線の学校や施設等への説明やご案内はされているのか。	現段階ではまだ説明を行っていないが、 <u>神奈川県と川崎市にはお話しさせていただいている。</u>
それ以降は何か考えられていることはあるのか。	中編成ワンマンの時と同じこととお話しさせていただいたが、具体的に日が決まれば <u>隣接する横須賀線や京浜東北線等の車掌に依頼し、肉声放送で案内していただく。また、駅へはポスターを作成してご利用のお客さまに周知していきたい</u> と考えている。
周知をしていく期間は、ワンマン運転開始のどのくらい前から行うのか。	南武線の各駅にポスターを貼る等、調整が必要になってくる。 <u>線区全体、八王子支社管内も含めてもう少し調整していく。</u>

6. ワンマン運転に伴う駅設備等の詳細と変更点について明らかにすること。

【会社回答】必要な設備については整備していく。

組合	会社
☆駅に設置する設備、ワンマン運転開始後の車掌用の設備について	
ワンマン運転に伴う設備の変更はあるのか。	<u>乗降確認用カメラと、車両に映像を飛ばすミリ波送受信機</u> というものを各駅に整備している。また、ワンマン運転には必須ではないが <u>ホームドアの整備</u> も行っている。
駅設備の追加、変更点について。ワンマン運転開始後、車掌用ITV、発車ベル、レピーターの撤去は考えているのか。	全体的に見て、 <u>車掌用ITVと発車ベルについては最終的に撤去する方向</u> で考えている。 <u>レピーターについては、駅等も含めて様々な意見をいただきながら進めていきたい</u> と考えている。
☆ワンマン運転開始以降の集約臨の考え方	
南武線では集約臨を運行しているが、運行する時の取り扱いについて、現状で示せるものがあれば示すこと。	現時点で示せるものは無く、現在検討中である。
具体的に検討中とは。車両改造だとか、ホームドアの改造をイメージすればよいか。集約臨の運転は継続する考えなのか。	<u>車両改造やホームドア、集約臨の運転も含めて全体を見て検討している。</u>
☆ワンマン運転開始以降の駅の体制について	
駅の体制について、委託駅を含めて駅社員がいない時間帯があると思うが、体制の変更はあるのか。	<u>体制の変更については聞いていない。</u>
ワンマン運転開始後も含めて、朝早い時間でも委託駅で対応できる体制の構築を要請していく考えはあるのか。	<u>現在でも、何かあれば指令を介して委託駅社員を起こして対応するスキームはある。</u>

【5項における会社回答のポイント】

- ・具体的な日が決まり次第、隣接線区において車掌の肉声放送で、駅ではポスター等で案内。
- ・周知する時期については、八王子支社管内を含めて線区全体で調整中。

【6項における会社回答のポイント】

- ・車掌用ITVと発車ベルは最終的に撤去する方向で、レピーターは駅等の意見も踏まえて検討する。
- ・集約臨の運転については、ホームドアや車両改造等を含めて全体を見ながら検討している。
- ・駅の体制について、体制変更は聞いていない。委託駅を含め、指令を介して対応するスキームは現在もある。

次号⑥へ続きます。